

大林宣彦監督からのメッセージ★

1月、新聞に掲載された「ガンバレ福島」著
名人から応援メッセージ」という記事の中で、
大林監督が「花がれき」を応援するメッセージ
を書いて下さいました。

なかなかお会いできませんが、こうして私た
ちを見守って下さっているのが嬉しいですよ。



映画作家
おおばやし
大林
のぶひこ
宣彦さん



『花がれき』が手繰り寄せる未来。
崩壊した校舎は壁ではない。愛
する学舎の一部である。だからさ
つと片付けられぬ、ではなく、
互隣に花の絵を描いて、校舎の痛み
を記憶し、学舎のある古里の再生を
しっかりと誓おう。福島の再生の花
がれき。の授業は物ではなく心の再
生だ。痛みを知る者がけがれが得る
勇氣、穏やかな日々をまことに手繰
り寄せ得る知恵の輝きだ。彼らが示
す古里の。志と出逢う中から、僕
は2011年以降二本の古里映画を
作り、その賢さと美しさを世界に向
けて発信し、多くの共感、感動を得
ております。日本の未来はまだまだ
混沌の中。福島の里に生きる里人た
ちの姿に、世界は人間としての誇り
と尊敬を学ばせて貰っているのだ
です。福島の子らと再逢う。お健やか
に。僕らも一緒に、生きてゆきます。

2015年1月4日福島民友新聞掲載「ガンバレ福島～著名人から応援メッセージ」より

■花がれき壁掛けプレゼント■

＊上野台仮設住宅（国見町）＊1月24日（土）

飯館村から避難されている方々がお住まいです。
明るく可愛らしいおばあちゃんたちと楽しくお話を
してきました！



次は3月末、
“春のお楽しみ会”で
お会いしましょう♪

＊笹谷東部仮設住宅（福島市）＊2月14日（土）

浪江町から避難されている方々がお住まいの大規
模仮設住宅です。明るくフレンドリーな住民の皆さん
に案内して頂き、無事に壁掛けをお渡しできました。
時折吹雪く中、バレンタインデーにちなんでチ
ョコレートもプレゼント。とても喜んでいただけて、
心が温くなりました。次年度、壁画PJなどで交流
を続けることができるかもしれません♪



こんにちは！
保原高校美術部
です！

少し緊張…

■新年会 in 宮代仮設住宅、大成功！！■

お世話になっている浪江町の皆さんと一緒に楽しく過
ごそう！という思いで実施した企画です。



「歌」、オリジナル「復興かるた」・「福笑い」・「判じ絵ク
イズ」、「ダンス」、「おしるこ会食」という内容。

とても楽しんで頂けたので、部員も大満足。長期化する
避難生活の中には、様々な問題が存在すると思いますが、
私たちが伺うことで少しでも心を和ませて欲しいです。春
になればまた、壁画PJでお邪魔することになりますので、
その時が楽しみです！

1月17日（土）

♥伊達市仮置场景観対策絵画③、掲示完了！！

2月19日（木）、阿武隈急行保原駅から南に200mほど
にある仮置場の壁に、縦183cm×横460cmの大きな作品が
掲示されました。テーマは「春」。駅から見えます★



デザイン担当は、1年
4組、後藤瑛来さんで
す。30人で協力して
完成させました！